

テーマ：職業の社会学

[1] 職業の3機能(働き)

[2] 日本の職場環境と国際経済

[3] 職場環境の変化(日本的経営のゆらぎ)

[4] 職場の現在(現在の雇用状況)

[1] 職業の3機能(働き)

(1) 経済的機能: 生計の維持(賃金・収入)

消費生活「生活がかかっている」

(2) 社会的機能: 社会は分業・協業で成り立つ

仕事の継続・累積 ⇒ 仕事に精通

「社会(職場)でなくてはならない存在」

社会的な位置づけ = 社会的役割

(3) 個人的機能：パーソナリティーの側面

仕事に精通・スキルアップ ⇒ 技能の蓄積
⇒ 潜在的能力が花開く ⇒ 個性化(的)

パーソナリティーとは：Personality

その人らしい行動の仕方＝態度・振る舞い

☞ 職業とは個人と社会を結節する機能

＝自己を拡充する機能(生き甲斐)

⇔ 失業(自己喪失感)

[2] 日本の職場環境と国際経済

終身雇用／年功序列制／福利厚生

👉 日本的経営（経営家族主義）

高度経済成長⇒ニクソンショック（1971年）

為替レート：固定相場制から変動相場制へ

1 \$ = 360円が 310円、85年240円、94年100円

円高：輸出産業打撃⇒海外進出（産業の空洞化）

輸入プラス：バブル景気（ブランド品?）

⇒ 崩壊（1991年）

[3] 職場環境の変化（日本的経営のゆらぎ）

雇用形態の多様化 ⇒ 必要な時に必要な労働力
⇒ 労働のフレックス化・雇用調整＝リストラ

（1）労働者派遣法（1986年施行、16職種に限定）
1996年に26職種、2004年に原則自由化

○コース制人事制度の導入（人件費の削減）

総合職 / 一般職 / 中間職

(2)男女雇用機会均等法(1986年施行)

高度経済成長:女性の社会進出・雇用労働者化

コース制:配置・昇進・教育・訓練等の差別禁止

1985年全女性の47.4% ⇒ 92年49.6%

1992年共働き世帯 : 専業主婦世帯

914万世帯 > 903万世帯

女性の非正規労働者数:2003年で50%超

2019年3月で57.5%(vs.男性22.4%)

[4] 職場の現在 (2019年3月時点の雇用状況)

就業者数 = 6687万人 (雇用者数5984万人)

男3713万人 (55.5%) : 女2974万人 (44.5%)

正規労働者 VS. 非正規労働者

3439万人 (61.2%) vs. 2176万人 (38.8%)

非正規: 84年15.3%、89年19.1%、16年37.5%

内訳: パート19.1%、アルバイト8.1%、派遣2.6%

契約5.5%、その他3.5%

失業率: 2.5%

< 雇用環境の急変と職業観? >